

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
段階的に指導計画を立てたり、身近な学習教材を活用することにより、自分から進んで物事に関わろうとしたり、活動したりするなど関心や意欲をもって熱心に取り組むことができた。	自然や人との関わりに個人差が大きく、関わり方が分からない児童が少なくない。自分の思いや願いをもって活動に取り組めるように授業改善を進めていく。

●本校の実態を踏まえた学年ごとの課題及び改善策

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	多くの児童が、高い意欲・関心をもって自然や人に関わる活動に取り組むことができているが、経験については個人差が大きい。	幼稚園児や保護者・上級生などと一緒に行う活動をくり返し与えていくことで、親しい関わりが広がるようにする。
2年生	子供の意欲・関心は高く、与えられた教材に対しては熱心に取り組もうとするが、自分から課題を見つける力に乏しい。	子供にとって身近であり、自分たちの住む地域の人やものに関心を持てるような地域教材を開発したり、出会わせ方を工夫していく。

●学校全体で取り組む内容

スタートカリキュラムを取り入れ、他の教科と組み合わせた合科的な授業を行い、児童のもっている能力を次第に広げていくようにする。そして、具体的な活動や体験したことをその場限りのもので終わらせないように言葉などによって振り返りを行い、無自覚だった気づきが自分の中で明確になったり、それぞれの気づきを関連付けたりする。また、互いに伝え合い、交流する活動は、次の活動意欲へとつながっていくように、体験したことや調べたことを伝え合い交流する中で、自分の思いや願いを意識し、新たな活動へと課題を見付けることができる。